

第4回地域教育力推進のためのモデル校プロジェクト会議

〔 概要報告 〕

1 日 時 平成25年1月28日(月) 14:00~16:30

2 場 所 県立教育研究所

3 参加者

奈良市立 若草中学校	大和高田市立 浮孔小学校	大和高田市立 菅原小学校	大和郡山市立 郡山南小学校	大和郡山市立 治道小学校
桜井市立 桜井中学校	五條市立 五條西中学校	御所市立 葛上中学校	生駒市立 生駒東中学校	生駒市立 鹿ノ台小学校
香芝市立 二上小学校	田原本町立 北小学校	明日香村立 明日香小学校	明日香村立 聖徳中学校	下市町立 下市小学校



＜全体会～モデル校からの報告～＞

＜グループ協議＞

2 メリットと課題

メリット

＜子どもたち＞

- ・子どもたちに上級生としての自覚ができた
- ・子どもたちが地域の行事に主体的に関わるようになった
- ・子どもたちが地域を知り、誇りに感じるようになった

＜教職員＞

- ・地域に親近感を感じるようになった
- ・学校行事の際のクレーム対応が減った
- ・教職員が新たな取組を模索するようになった

＜保護者・地域＞

- ・組織を見直す契機となった
- ・学校を誇りに思うようになった
- ・学校への理解が進んだ

＜取組全体として＞

- ・既存の取組を見直し、発想の転換が生まれた
- ・熟議を通じて課題が見え、共通理解が進んだ
- ・学校・地域の双方向の情報発信ができた
- ・PTAや他の団体との連携が進み、組織が見えるようになった

課題

時間の確保

人材の不足

教職員の負担感

広報の方法

熟議の進め方

自治会等との連携

取組の継続

＜グループ協議から～課題解決へ～＞

- 子どもの変化や成功体験を共有する
- 長期休業をうまく活用する
- 個人ではなく、チームで当たる
- 目的・目標をきちんと共有する
- つながりがつながりを生む仕組みにする
- 丁寧な説明を心がける
- 既存の組織を活用する
- 取組の成果を学校、地域の双方で周知する